

NCGM国際医療協力局の須藤恭子看護師が「The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science」において「ベストEポスター賞」を受賞しました



「The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science」が、10月18～19日の2日間、台湾とオンラインのハイブリッドで開催されました。

須藤看護師は、このカンファレンスに、令和2年度から令和4年度の医療技術等国際展開推進事業による成果の一部として、Eポスター「Japan-Indonesia Gerontic Nursing Project: Enhancement of Educational Skills in Nursing Practice in Indonesia (Part 1): Development of Nursing Practice Material Using VR」を発表しました。事業は、インドネシアと日本との共同で実施され、ニーズの高まる高齢者看護や看護学実習におけるVR技術の活用に着眼した点が評価されました。